

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支援部門 まち-02 都市政策事業									
主管課	土地利用調整課					関連課				
分野名	市街地整備									
目標 (目標値)	計画的な土地利用と市民参画によるまちづくりを推進するため、鎌倉市まちづくり条例の適正な運用を行い、安全で快適な生活が送れるまちづくりに努める。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	77		64		84				
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	77		64		84				
	人員配置数	5.0人		3.9人		3.9人				
	人 件 費(千円)	37,509		30,850		33,117				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	37,586		30,914		33,201				
	市民1人当りの経費(円)	211		174		187				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	逗子市	横須賀市	葉山町	三浦市	伊勢原市	座間市
	まちづくり条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	検討中
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
条例の適正な運用(%)	◎	目標値	100	100	100	100				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
まちづくり推進事業	77	まちづくり推進事業	111	今後の方向性	A	理由・手法	大規模開発事業案件の増加や、よりきめ細かな対応が求められていること、さらにまちづくり条例の改正に伴う新たな自己用住宅の運用が必要となるため。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・まちづくり条例による大規模・中規模開発事業の届出において、「自己の居住の用に供する建築物の建築を目的としたもの」については、開発事業の適用除外に当たることから、引続きの連鎖開発に発展する可能性がある。												
課題解決のための取組	・平成26年10月の条例施行に向け、運用及び課題の整理を行うとともに、庁内意見調整等を行った。							取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	・「自己の居住の用に供する建築物の建築を目的としたもの」については、開発事業の適用除外に当たり、引続きの連鎖開発に発展する可能性があることから、平成26年10月施行予定のまちづくり条例運用課として、平成26年10月以降本来の主旨に沿った適正な運用を進めていく。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・引き続きまちづくり条例の適正運用に努めるとともに、今後も、まちづくり条例を運用する立場から課題の整理に当たる。							➡		A			
	※□事業完了												

評価者名

土地利用調整課長

樋田 浩一

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
まちづくり 推進事業	まちづくり条例の運用事務					○	○	△	○
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		247	大規模開発事業の助言指導に係る都市政策専門員謝礼	51	0	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		247	消耗品費	40	36	○	○	○	○
		247	印刷製本費	41	40	○	○	○	○
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									